

携帯の呪縛を解こう

金沢学院東高校第57回卒業証書授与式



告辞を述べる飛田理事長

金沢学院東高校の第57回卒業証書授与式は、3月1日、高校体育館で厳かに挙行され、295人が学び舎を巣立ちました。式には、多数の中学校長や先生方、保護者に加え、初のタイ人留学生の卒業を祝し、石川県国際交流会やタイ友好協会からの臨席もありました。

木谷辰夫校長は、卒業生代表の飯川和彦君に卒業証書を手渡したあと、式辞でクラーク博士の有名な言葉を引用し「人間としてあるべき全てのことを成し遂げるために、大志を抱いてほしい。その人間としてあるべき全てのこととは、本学の教育理念『創造』の中にある3つの指針そのものです。どうか実践してほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

式辞を述べる木谷校長



縛から解放され、将来の自分のために時間を使うことを考えるべきである。その上でさまざまな価値観に触れ視野を広げてほしい」と述べました。

斎藤千佳子同窓会長の祝辞と在校生総代の重田舞さんの送辞にこたえて、卒業生総代の長浦諒典君が「ここまで成長できたのは多くの皆さんのおかげ。新校舎で多くのことを学びました」と周りの人たちへ感謝の言葉に続

大志を抱き『創造』の実践を

き「本校の良き伝統を受け継ぎ、さらに発展させてください」と答辞を述べました。

式では、校長褒賞として、3カ年皆勤賞の22人（代表・平村友佳さん）、教科外活動特別功労賞・功労賞の22人（代表・高坂明香さん）が表彰されました。

国公立へ過去最多

金沢学院東高校の国公立大学の合格者数が、9人に達し昨年度の8人を超え過去最多（3月9日現在・卒業生1人含む）となりました。現役合格8人のうち7人が3年間運動部に所属しており、文武両道で頑張った結果といえます。後期日程試験の結果はこれから、さらに上乘せが期待されています。なお、金沢学院大学には80人、金沢学院短期大学には27人、あわせて107人が合格しています。これは今年度卒業生295人のうち36%を占めることになります。

また、就職については、厳しいといわれる状況の中で41人の就職希望生徒全員が企業からの内定をもらっています。

不慮の事故に備えて

救急法講習会
 体育館学生のAED使用を含む救急法講習会が、2月10日大学第2体育館で行われました。参加した学生26人と教職員2人は、西村裕樹東高校教諭らの指導のもと、不慮の事故・急病等による緊急時の手当ての基本とAEDを使った救急蘇生法を学びました。



救急法を学ぶ運動部員
 =第2体育館

人命救助で感謝状

金沢学院東高校の山本憲司常勤講師が冬期休業中、旅行先の山梨県小淵沢駅で、AEDを用いて人命救助を行いました。その献身的な行為に対し、2月18日にJR東日本から感謝状が贈られました。

春を呼ぶ、華展

学院大・短大華道部



幻想的な世界に=ANA ホテル

金沢学院大学・金沢学院短大華道部の華展が、2月11日・12日ANAクラウンプラザホテル金沢で行われました。

今年の華道部は、新入生の入部が多く、20人に増えた部員が、岡紫穂石川県いけばな文化協会理事長と三口理芳さんの指導でロビーを中心とした会場を華やかに飾りました。「活ける」ことで、命を吹き込まれた花や木が、会場に一足早い春を運び、ホテル客の目を楽しませていました。